

第32回不動産鑑定シンポジウムを開催しました。

本会の研修委員会では、『いま不動産の鑑定評価は 一事業用不動産（ホテル）の評価について』をテーマとし、11月20日（金）に北陸不動産鑑定士協会連合会の協力を得て、ホテル日航金沢（金沢市本町）において、第32回不動産鑑定シンポジウムを開催しました。

訪日外国人旅行者（インバウンド）の飛躍的な拡大を背景に、東京五輪招致決定等の追い風を受け、ホテル業界は、ホテルの客室稼働率、客室単価の上昇等で好調に推移し、出張の際にビジネスホテルの予約が取りにくい現象も起きています。外資系や国内資本のホテルの開業も相次いでいるので、事業用不動産の中で特にホテルにスポットを当て、不動産鑑定士としてどう評価に取り組むのかを検討しました。

■基調講演

テーマ：「最新のホテルマーケットと森トラストのホテルズ&リゾート事業」

講師：伊達美和子氏（森トラスト・ホテルズ&リゾート（株）代表取締役社長、森トラスト（株）専務取締役）

■パネルディスカッション

「①ホテルの経営基準、運営指標について」

「②鑑定評価手法について（ホテル評価の精緻化）」

コーディネーター 干場浩平氏（一般財団法人日本不動産研究所）

パネリスト 呉服弘晶氏（ホテル日航金沢・常務取締役総支配人）

パネリスト 堀江寿郎氏（公益社団法人石川県不動産鑑定士協会 会長）

パネリスト 北村剛史氏（（株）日本ホテルアプレイザル）



公益社団法人

日本不動産鑑定士協会連合会

Japan Association of Real Estate Appraisers